

ひとと自然の共生

きらめく田園と交流のまち

ながぬま



北海道長沼町

移住ハンドブック



ながめまって…？

雄大な石狩平野に望み、馬追山の裾野に
のどかな田園風景が広がる長沼町。

札幌市や千歳市などの都市部と近接しながら、
農村ならではの緑に囲まれた風景や澄んだ空気を満喫できます。

温泉やキャンプ場などの各種施設が充実した長沼町で
あなたもちょうどいい田舎暮らしを始めてみませんか？

ACCESS

札幌からは車で1時間圏内、千歳や岩見沢からは約30分と、日帰りのドライブには最適の距離にあり、豊かな自然や特産品に気軽にふれあえる心やすらぐ町として多くの人を訪れています。



車

札幌から……50分
北広島から……20分
千歳から……30分
岩見沢から……30分



JR+バス（札幌千歳から）

JR札幌駅、またはJR新千歳空港駅から
約20分のJR北広島駅で下車



ジェイ・アール北海道バスに
乗り換えて約30分

農業のまち～ながぬま～



町の66%が田畑や牧場で占められており、道内有数の米どころとして知られ、他にも多くの農産物が栽培されています。道内の農産物の主要供給基地としてはもちろんのこと、グリーン・ツーリズムの受け入れや直売所も好評で、都市との交流が盛んに行われています。



ながぬまの特産品たち



長沼名物ジンギスカン

50年以上の歴史を持つ長沼のジンギスカンは、北海道内で不動の地位を築いています。高タンパク、低カロリーな羊肉を各店が工夫を凝らしたタレでどうぞ！ながぬま温泉のジンギスカンコーナーでは3店舗の味付けジンギスカンの食べ比べも楽しめます。



源泉豆腐

大豆の生産量日本一を誇る長沼町の特産品「源泉豆腐」。甘みが凝縮された豆乳に、隠し味として「ながぬま温泉」の源泉を加えています。強塩泉の塩気が大豆の甘みを引き立て、深いコクを生み出し、濃厚な豆腐に仕上がっています。



どぶろく

北海道で最初にどぶろく特区の認定を受けた長沼町。町内5つの農家が自家製米を使ったどぶろくを製造・販売しています。度数も風味もそれぞれ違いがあるので、「利きどぶろく」してみませんか。



長沼かりんとう饅頭

町内老舗菓子店の「菓子匠森下松風庵」で作られている、黒糖香る懐かしい味わいのロングセラ商品です。

ながぬまでちょうどいい田舎暮らし

ながぬまDATA

医療



町立長沼病院

内科、消化器科、循環器科、
精神神経科、眼科、
皮膚科、整形外科

長沼内科消化器科

長沼整形外科
リハビリテーション科

その他、個人開業の医院・歯科医院もあります



コンビニ

市街地区 ~ 4件
西長沼地区 ~ 1件
南長沼地区 ~ 1件



金融機関など

北海道銀行長沼支店
空知信用金庫長沼支店
ながぬま農業協同組合
郵便局

自然豊かな長沼町には緑あふれる公園がたくさんあります。思いっきり体を動かしたりのんびりお散歩したり四季の変化を楽しみながら過ごすことができます。



公園

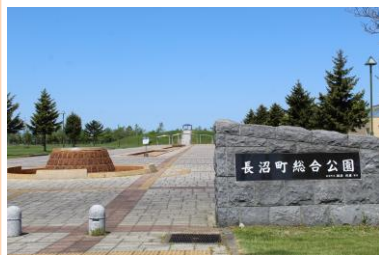
長沼町総合公園

見渡す限り緑が広がる北海道らしい広大な公園。保育園・児童センターが隣接しているほか、野球場やサッカー場等も備えており、幅広い世代が楽しめます。

◀公園から見える夕焼け空は絶景

DATA

所在地 長沼町南町2丁目3番
問合せ先 0123-88-0151



ながぬまコミュニティ公園

パークゴルフ場、オートキャンプ場、テニスコートなどの施設が併設され、隣には温泉もあることから、家族連れで楽しむことができます。

◀公園内には旧夕張鉄道のSL機関車が保存されています。

DATA

所在地 長沼町東6線北4番地
問合せ先 0123-76-8019





道の駅マオイの丘公園

道内で37番目の道の駅「マオイの丘公園」は、国道274号線と国道337号線の交点に位置しています。サイロをイメージしたセンターハウスには、売店、ピッツェリア（ピザ専門のイタリア料理店）、展望スペースがあり、敷地内には安さと新鮮さを売りとしている農産物直売所が併設されており、利用者は年間100万人以上の人気施設となっています。

DATA 所在地 長沼町東10線南7番地
問合せ先 0123-84-2120



マオイオートランド

日本オートキャンプ協会より4つ星の認定を受けた全国でも有数のオートキャンプ場として道内外から人気を集めています。カーサイトをはじめコテージ5棟、炊事棟、パークゴルフ場、水洗トイレを完備しています。利用者は隣接するながぬま温泉の半額入浴券がもらえ、同時に温泉を楽しむという特典があります。

DATA 所在地 長沼町東7線北4番地
問合せ先 0123-88-0700



ながぬま温泉

北海道でも屈指の湯量を誇るながぬま温泉。もちろん加水・加温はせずに100%源泉掛け流し。保温効果が高く湯冷めしにくい泉質は「熱の湯」とも呼ばれています。食事処もあるのでゆったりとした時間を過ごすことができます。

DATA 所在地 長沼町東6線北4番地
問合せ先 0123-88-2408



ながぬまの魅力は底知れない

町内には豊富な農産物を活用したファームレストランや、おしゃれなカフェ、個性豊かなお店がたくさんあります。最近では、ながぬまに惚れ込んで移住を決めた方が営むお店も増えています。観光協会のパンフレットでは、たくさんのお店やおすすめスポットを紹介しています。気になるものを見つけて、ぜひ訪れてみてください。



となりのながぬま～長沼町観光協会公式サイト～▶



田園広がる風景 澄んだ空気
 豊富な地元産の食材
 意外と整備されている子育て環境
 子どもも親ものびのびと
 スローライフな子育てをしませんか？



保育園

DATA

現在、長沼町には2つの保育園があります。



保育園	定員	年齢	通常保育時間	延長保育時間	休園日
中央長沼保育園	150名	0歳～ (生後57日以降)	月曜日～土曜日 8:30～17:00	7:30～8:30 17:00～18:00 18:00～19:00※	日曜日 (保育園行事時を除く) 祝日
南長沼保育園	45名	満2歳～		8:00～8:30 17:00～18:00 (土曜日は通常時間の とおり17:00まで)	年末年始 (12/31～1/5)

※保育短時間の場合は有料となります。

長沼町には市街地中心部に小学校と中学校が
 つずつあります。
 町内全域を対象にスクールバスが運行されて
 いるので、遠方からの通学も可能となっ
 ています。令和2～3年度にかけては、文部科学省が
 進める「GIGAスクール構想」の実現に向けて、
 生徒1人1台のタブレット端末と高速大容量の通
 信ネットワークを一体的に整備されました。



長沼小学校



長沼中学校



北海道長沼高等学校

長沼高校は全校生徒約100名と小さな学校ですが、少人数の利点を
 生かして、希望の進路に向けた個別講習や、基礎力向上を目指し
 た講習が行われたりするなど、個人個人の目標が叶えられる学校
 となっています。
 また、高校では珍しい給食を導入している学校です。

DATA

所在地 長沼町旭町南2丁目11番1号
 問合せ先 0123-88-2512





児童センター ぽっくる



「ぽっくる」は長沼町で初めての児童センターとして2019年8月にオープンしました。子どもたちが安心して、自由に遊び、生活することで、「共に生きる力」を育むことができる機会と場を提供する施設となっています。

DATA

所在地 長沼町南町2丁目3番2号
問合せ先 0123-76-7461



子育て支援センター はびはぼ

子育て支援センターは、出産を控えた方や、0歳から就学前のお子さんとその保護者、ご家族のための施設です。親子遊びの紹介、保護者のリフレッシュや子育てに関する講座の実施など、家庭での育児を支援しています。子育てに関する情報提供や、育児相談はいつでも行っています。



ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターは、子育ての援助を行いたい方と子育ての援助を受けたい方が会員となって、安心して子育てができる環境づくりのお手伝いをします。アドバイザーが会員による援助活動を円滑に行えるよう連絡・調整を行います。



少年団活動

長沼町には野球、サッカー、バレーボール等、計9団体のスポーツ少年団があります。選手たちはスポーツセンター、総合公園等整備の整った体育施設で日々練習に励んでいます。



各種支援制度

乳幼児等医療費助成制度

高校卒業（18歳に達する日以降の最初の3月31日）までのお子さんを対象に医療費（町内外・入通院を問わず、保険診療の自己負担額）を全額助成します。

問合せ先 役場 国保年金係 0123-76-8013

出産祝金制度

出産児の親権者が、長沼町に出産日前引き続き1年以上住所を有し、かつ居住し、子どもを出産した場合に祝金を支給します。（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降10万円）

問合せ先 役場 国保年金係 0123-76-8013

新生児聴覚検査費助成

新生児聴覚検査を受ける保護者の経済的負担を軽減するとともに、新生児の聴覚障がい早期発見・早期療育を図るために、検査費の一部を助成します。

問合せ先 りふれ 保健係 0123-82-5555

チャイルドシート購入費助成

養育者が長沼町に1年以上住所を有している場合に限り、チャイルドシート購入費の一部を助成します。（上限1万円）

問合せ先 役場 国保年金係 0123-76-8013

遠距離通園助成

町内保育園に通園している世帯で、片道4kmを超える場合に通園費の一部を助成します。（距離に応じて1日あたり55円～）

問合せ先 りふれ 子ども支援係 0123-82-5555

更に詳しい子育て支援情報は「子育て支援ガイドブック」をチェック！妊娠・出産・育児と長沼町の子育て情報を完全網羅しています。



ながぬまで働こう！



長沼町で働こう！

無料
FREE

職業
紹介所

長沼町では町内での就職や移住に向けての最初の一步を踏み出せるように、企業と求職者の間に入ってあせんと紹介をすることを目的とした「長沼町無料職業紹介事業」を開始いたしました。本事業を利用できる方は長沼町民または長沼町への居住を予定している方のみを対象としております。また、ハローワークの求人情報とは異なるため、本事業に申込みいただいた企業の情報のみが掲載されることになります。気になる企業・求人がございましたら、是非お気軽にご相談下さい。



問合せ先 役場 産業振興課 0123-76-8019

農業を始めたい
でも、どうやって
始めたらいいの？

農業経験の無い方が長沼町で農業を始める場合には、長沼町内の農家において、最低2年間の農業研修が必要です。ただ、独立自営以外にも農業生産法人等で雇用就農することで農業に携わる方法もあります。長沼町は農地取得が難しい地域であり、農業経営はリスクの大きいところもありますが、農業を始めたい方には、国等の支援事業の活用など新規就農者のサポートをしておりますので、役場農政係までお問い合わせ下さい。

問合せ先 役場 農政係 0123-76-8018

ながぬまはテレワーク・ワーケーションもできる



長沼町には街の中心部にテレワークの出来るコワーキングスペース「ながぬまホワイトベース」があります。利用者は町内有名カフェのコーヒーを自由に飲みながら、馬追運河の見えるカウンターでストレスなく仕事をする事が出来ます。また、長沼町ではワーケーションにも力を入れており、新しい「働き方」や「暮らし方」「楽しみ方」を提供しています。

問合せ先 役場 企画政策係 0123-76-8015



DATA

ながぬまホワイトベース
所在地 長沼町本町北1丁目1番1号
問合せ先 0123-76-7895

ながぬまで住まいを見つける

移住を検討するうえで必ず決めないといけないのが、移住先での住まいです。住まいの条件（金額、場所、土地・建物の面積、新築か売買か賃貸か等）は人それぞれですが、長沼町では住まいのエリアとして以下のとおり大まかに3つに分類されます。

メリット

- スーパー、銀行、コンビニや公共機関が集約されているため生活が便利
 - アパートなどの賃貸物件が豊富
 - 住宅用の土地が見つけやすい
 - 札幌市や北広島市へ直結のバスが通っている
-
- 小高い位置からの美しい景色を堪能
 - 森林に囲まれた静かな暮らし
 - 宅地価格が市街地より低い
 - 移住者や二地域居住をしている人が多いエリア
-
- 平地から望む夕日は絶景
 - 広々とした土地で家庭菜園を楽しめる
 - 宅地価格が市街地より低い
 - 自然に囲まれた暮らしでのんびりリラックス

デメリット

- ぼつんと一軒家のような暮らしを望む人には不向き
 - 他エリアと比較すると宅地価格は高くなる（それでも札幌市周辺等の都市部と比較すると圧倒的に安価です）
-
- 徒歩圏内に商店がないので、生活するのに自家用車がないと不便
 - 人気エリアのため良物件を探すのに苦労する
 - 水道が通っていない箇所もあり、その場合は費用が増える
-
- 徒歩圏内に商店がないので、生活するのに自家用車がないと不便
 - ホワイトアウトが起りやすい
 - 敷地が広い場合が多いので冬の除雪が大変になる



中央長沼市街地エリア



馬追丘陵エリア



平地の農村エリア

POINT!!



- ◆賃貸の一軒家は、ニーズが高いため、Webなどで情報をこまめにチェックする必要があります。
- ◆地元の人たちとつながることで掘り出し物件が見つかることも…
- ◆アパートの家賃は、札幌市などとさほど変わりません。（築浅物件1LDKで約5~6万円ほど）
- ◆一度アパートなどに拠点を構え納得できる物件が見つかるまでじっくり探す方法もおすすめです。
- ◆**長沼町ではオンライン移住相談を実施しています。少しでも聞きたいことがあれば、担当者にどんどん質問しましょう！**

オンライン移住相談の詳細はこちら



各種支援制度

空き家・空き地バンク

空き家・空き地を売りたい（貸したい）とお考えの所有者の方に、物件情報を「バンク」に登録していただき、長沼町のホームページで移住を希望する方に紹介する制度です。

問合せ先 役場 企画政策係 0123-76-8015

空家活用支援助成事業

自らの負担で空家を修繕・改修しようとする所有者のうち、移住者（転入者）または子育て世帯のいずれかに該当する方を対象に、住宅または併用住宅を改修する際に要する工事費の一部を町が助成します。（上限60万円）

問合せ先 役場 建築係 0123-76-8024

町内就業者定住促進家賃助成事業

長沼町内の事業所で働くため、町外から町内の民間賃貸住宅に移り住む40歳未満の就業者または子どもを扶養している就業者の方に対し、家賃の一部を町が助成します。（月6,000円~12,000円）

問合せ先 役場 建築係 0123-76-8024

UIJターン新規就業支援事業

首都圏から長沼町に移住し、新たに就業又は起業を行う方に、北海道との共同により移住支援金を支給します。（単身60万円、世帯100万円、首都圏在住年数など要件あり）

問合せ先 役場 ブランド戦略係 0123-76-8016

住宅リフォーム総合支援助成事業

町内在住の方や転入者の方が町内業者を利用して行う住宅リフォーム費用の一部を町が助成します。（30~50万円を上限）

問合せ先 役場 建築係 0123-76-8024

合併処理浄化槽設置整備補助事業

公共下水道および集落排水事業区域ではない区域に合併処理浄化槽に設置する個人の方に対し、費用の一部を町が助成します。

問合せ先 役場 下水道係 0123-76-8023

まずは住んでみよう！

お試し暮らし体験住宅！

今やPCやスマートフォンで町の情報を手に入れることが容易となっはいますが、その地域のルール、地元の人たちとのつながり、季節ごとの気候、商店までの距離感など実際に住んでみないと分からないことが実はたくさんあります。長沼町では移住希望者の方に、そういった画面越しでは得ることの出来ない情報を肌で感じてもらうため、短期滞在型のお試し暮らし体験住宅をご用意しています。



- 対象者
 - ・長沼町への移住を検討している方
 - ・原則20歳以上の夫婦とその家族
 - ・体験感想文、アンケートにご協力いただける方
- 使用期間 原則1週間以上3か月以内
※6～8月は最長1か月で、月をまたいでの利用は不可
- 申込方法 Eメール又は電話にて仮予約後、借用申請書を提出

DATA	銀座1		銀座2		南長沼	
	所在地	市街地	所在地	市街地	所在地	南長沼地区
借用料 (1日)	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
	1,600円	2,200円	1,600円	2,200円	1,400円	2,000円
間取り 面積	3LDK 平屋建て 66.26 m ²		2LDK 平屋建て 66.26 m ²		3LDK 平屋建て 66.26 m ²	
Wi-Fi環境	○		○		×	

※夏期（5月～10月） 冬期（11月～4月）

問合先 役場 企画政策係 TEL 0123-76-8015

MAIL seisakusuishinka@ad.maui-net.jp



ながぬまの魅力を全身で体験

長沼町には四季折々で楽しめる体験メニューや施設が充実しています。

お試し暮らし期間中は、日常の暮らしぶりと同時に北海道らしさ長沼らしさを存分に体験してみたいかがでしょうか？



- 【左上】マオイオートランドでBBQ
- 【右上】北長沼スキー場で親子スキー
- 【左下】ダウンリバーカヤック体験
- 【右下】ハイジ牧場でヤギと触れ合う

LINE公式 アカウント 「長沼移住ナビ」 を開設！！



長沼町では令和4年度よりLINE公式アカウント「長沼移住ナビ」を開設しました。

移住に関する最新情報やイベントのお知らせ、各種支援制度のご案内、観光、求人、ふるさと納税に関する情報などを手軽に調べることが出来る便利なツールとなっているので、移住を検討中の方は友だち登録必須です！

●登録方法

下記のいずれかの方法でLINE公式アカウント「長沼移住ナビ」を友だち登録してください。

【QRコード】

右記のコードを読み取り登録

【ID検索】

LINEアプリの「友だち追加」から「検索」に進み「@51800qdz」をID検索して登録

【URLから登録】

<https://lin.ee/CwmtLoP>



問合先 役場 ブランド戦略係 0123-76-8016

移住者の声



”長沼”を表現する、1棟貸しの宿<MAOIQ>

生い茂る木々、チラチラと揺れる木漏れ日を眺めながらまどろむ時間。針葉樹に降り積もる雪を前に、深く深呼吸をする時間。想像してみるだけで、スッと肩の力が抜けるような気がします。MAOIQには、そんな「時間」が流れています。小高い丘を上った林の中にある1棟貸しのパケーションハウスで過ごす、何てことのない、特別な時間。きっと誰しにも、「自分だけの時間」が必要なのでしょう。

オーナーの武隈さんもまた、そんな時間を求めて長沼町へやって来た人でした。

read more



大工とミートパイ、2足の草鞋で<PIE ME>

オーストラリア出身のカール・ディアカさんは、オーストラリアで出会った妻の地元が登別市であったことから、6年ほど前に北海道へとやって来ました。日本語が堪能で、いつも元気。そんなカールさんが、長沼町の市街地に2021年にオープンさせたのが、PIEME。オーストラリアのソウルフードである、ミートパイを出す店です。大工としても活躍するカールさんに、暮らしと仕事と家族のことを聞きました。

read more



日々の暮らしの雑貨と食材<ゆきかう>

ゆきかうは、長沼町の中心部にある雑貨店。オーガニックをはじめ、生産方法や素材にこだわった「物語」のある商品を取り扱うセレクトショップです。ナッツやドライフルーツ、調味料やお菓子、衣類にキッチン雑貨と、幅広いラインアップは、どれも吉田夫妻が実際に使って、「良い」と感じたものばかり。自らの暮らしと仕事を緩やかに一体化させている夫妻のお話を聞きました。

read more





タンチョウも住めるまちづくり
長沼町